

ござそうろう

(株)御座候

姫路市阿保甲611-1 ☎079-282-2311



公式サイト

赤あん・白あんの入った回転焼「御座候」を全国79店舗で実演販売する。創業から74年。温かみのある手仕事の大切さを受け継ぎ、今日も愚直に伝え続けている。

本物の味をぶれることなく、手渡して提供する



一個一個、丁寧に心を込めて焼き上げます

「本物の味をぶれることなく、手渡して提供する」。創業来変わらず御座候作りに込められてきた思いです。商品の命ともいえるアンコは、北海道十勝産の小豆を厳しい基準で

選別し、年度ごとに異なる小豆の特性などに目配りしながら、その高い品質を生かす釜・炊き方で風味豊かなアンコを作ります。各店では経験を積んだ職人が丁寧に焼き上げ、焼き立てを販売員が包装紙に手際よく包んで手渡しします。

手仕事の豊かさと温かみを伝えようと、2022年4月には姫路の書写山の麓に初のカフェ業態となる手仕事喫茶「御座候 書写山麓店」をオープン。小豆・手亡豆の風味を活かしたケーキや、赤あん・白あんに合う珈琲や煎茶を手仕事の職人が作ったカップや皿で提供し、手仕事の温かさとともに伝えていきます。

女性の職人も誕生し、現在は20人に

360人いる社員のうち約200人が職人として働いている同社。本社にはお客様満足向上のための技能を磨き、学び合う場として「実演技能研究所」があり、お互い学び、気付きを得る場所になっています。また年に1回、全国で予選を勝ち抜いた職人がその技を競う「焼成技能コンテスト」が開かれ、No.1を決定しています。3年前には女性の職人も誕生し、現在では20人にまで増えているとのこと。採用・初期訓練を担当する同社の山之内良洋さんは「全国各地で愛されているなじみ



手焼きの温もりを届けます

のお菓子。一見単純だが奥深い手仕事の温かみを未来の世代につなぎ、100年企業を目指したい」と話しています。

企業データ

■設立(創業)/1959年
(創業1950年)
■資本金/8,527万円

■売上高/64億円(2023年9月期)
■従業員数/520名

■平均年齢/39.9歳



パイプをつなぐフランジ、継手の生産で国内トップ級。3Dプリンターをはじめ常に新たな技術に挑み、エネルギー・環境・社会インフラ向けから航空・宇宙分野まで多様な分野に部品を供給している。

技術力と対応力で多様な要請に応える



金属立休物を制作できる3Dプリンター

1946年の創業で、当初は大手造船所の協力工場としてスタートし、造船向けフランジを主力としてきました。その後、石油・石油

化学・LNGプラント、発電プラント、送電鉄塔向けのフランジに取り組み、現在は、建築・土木向けの機械式継手や、半導体製造装置向け、航空・宇宙向けの鍛造品を製造しています。

フランジは、鍛造、熱処理、機械加工というプロセスを経て生産されますが、少量多品種短納期に対応できる体制を整え、また、ISOを初めとする国内外の第三者検査機関の認証や各ユーザー認定を取得してきたことでものづくりの多様な技術力と対応力を蓄えたことが武器となり、企業から多くの開発要請が寄せられています。

カフェのようなサテライトオフィス

鍛造に加え、現在注力しているのが、棒鋼を金型に入れて引き抜き求められるサイズ・形状にする冷間引き抜きと、溶接ワイヤを溶かして立体形状の構造物を作り上げる3Dプリンターを使った加工です。「いずれも材料ロスの少ないサステナブルなものづくりです」と下田信治社長。また、sustainable × material = susterial (サステリアル) を商標登録し会社の進むべき方向性を示しました。

3Dプリンターが置かれた電子工場には、まるでカフェのようなサテライトオフィスを2022年に整備し、若手技術者が自由な発想

でのものづくりができる環境を整えています。他の工場についても改装し、クリエイティブな発想力と集中力をあげる環境づくりを進めていこうとしています。



工場建屋内に整備されたユニークなサテライトオフィス

企業データ

■設立(創業)/1948年
(創業1946年)
■資本金/3,000万円

■売上高/56億円(2023年3月期)
■従業員数/99名

■平均年齢/40.1歳

せいわこうぎょうしょ

(株)精和工業所

伊丹市北本町3丁目105番地 ☎072-782-0281



公式サイト

温水タンクやリチウムイオン電池ケースなどステンレス素材の溶接技術で強みを持つ精和工業所。働く人、地域の人が誇れる企業を目指して、自社商品の開発にも力を注いでいます。

薄いステンレスの溶接技術に強み



ステンレスの溶接風景

厚さ1mm以下の薄いステンレスをつなぎ合わせる溶接加工技術を得意とし、給湯器の温

水タンクやコンビニエンスストアのコーヒーマシン向け熱湯タンク、リチウムイオン電池ケースなどを製造しています。できあがった製品は温度、圧力、水質やその変化に耐えられる性能や精度が求められるため、溶接時の電流量、酸素遮断、専用器具開発など、ノウハウを組み合わせながら最適な条件で加工を行っています。

顧客からの厳しい要求に応えるべく独自の検定試験による資格制度を設けているのも特長の一つ。製造現場で働く女性パート従業員が溶接加工に興味を持って資格取得に挑み、正社員に登用された事例もあるそうです。

消毒液ディスペンサーなど自社製品も強化

「地域の人に誇りに思ってもらえる会社になることが目標」と話す原克彦社長。そこで現在力を入れているのが自社ブランド商品の開発です。すでに地域の酒造会社の要望に合わせて開発したホットビールサーバーを商品化。コロナ禍に合わせて2020年に商品化した、消毒液ディスペンサーは、来客の多い施設でも円滑に対応できるように大容量で瞬時に噴射できる構造とし、地元の伊丹市などへ寄贈。現在、多くの病院や大学などで採用が進んでいます。「ここで働いていてよかったと思える会社を目指し、社員が一体感を持って

働ける風土をつくって
いきたい」と話して
います。

自社商品
大容量消毒液ディスペンサー

企業データ

■設立(創業)/1965年
(創業1962年)
■資本金/2,400万円

■売上高/44億1,484万円(2022年9月期)
■従業員数/249名

■平均年齢/42.0歳



「仕事を持つ母親を応援したい」と2000年に保育事業を創業した木田聖子社長。園で働くだれもが幸せに、日々生きがいを持って働ける仕組みを進化させ続けています。

- 👑平成28年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑ひょうごこころへ女性活躍推進企業(ミモザ企業)認定企業
- 👑成長期待企業

公平さを保ち、やりたいこと応援



7つの社是

現在、25園の保育園を運営する同社。創業以来、すべての従業員にとって公平感が得られる働き方を追求してきた結果、現在は、正社員、短時間正社員、パートの中から、その時の状況に応じて働き方を選べるようにするとともに、すべての役職で時給制を導入することで、気兼ねなく働く時間を決められる環境が整いました。

いつまでも働き続けたいと思える環境を整えることで、同社では2023年3月現在、全従業員219名のうち、60歳以上の従業員が80名と3分の1以上を占めるまでに増えています。

働き続けられる受け皿も整備

木田社長は自身の役割を「会社にかかわるすべての人たちの幸福を追求するための奉仕型リーダー」と宣言しています。毎月の労働時間については本部ですべて管理をし、長時間の残業をしている従業員に対しては、状況をヒアリングするとともに、木田社長自身もヘルプスタッフとして現場に入り、サポートしています。

また、毎年、全従業員にストレスチェックを実施し、ごく少数ながらも「危険水域」に達している従業員に対しては面談を行い、一つずつ課題をつぶしていくことで、だれもが働きやすい環境を実現しています。



スタッフとして子どもと接する木田社長

企業データ

- 設立(創業)/2000年(創業1992年)
- 資本金/3,810万円

- 売上高/5億円(2023年3月期)
- 従業員数/215名

- 平均年齢/48.0歳

はーどぐらすこうぎょう

ハードグラス工業(株)

伊丹市北伊丹7-79 ☎072-784-3671



公式サイト

ハードグラス工業は、強化ガラスドアで国内7割のシェアを持っています。飛散しにくい二重の合わせガラス、断熱性に優れる複層ガラスなど多彩なガラス製品をつくっています。

あらゆる場所のガラスドアに



エントランスの強化ガラスドア施工例

700～800℃の高温でガラスを熱したのち、風を送りつけて急冷することで表面が丈

夫なガラスが出来上がります。これが強化ガラスです。同社が製造した強化ガラスドアはグランフロント大阪や六本木ヒルズ、銀座シックス、世界の空港や地下鉄など、私たちが日々目にする場所の多くで使われており、専務の下岡正典さんは「ここにもあそこにもハードグラス工業のガラスドアがあると実感できることが社員の何よりのモチベーションになっている」と言います。1970年の創業時から製造している強化ガラスドアでは周囲の枠も含め一貫生産ができることを強みに納期、価格、品質面で他社を圧倒しています。

これからもガラスで貢献

近年では、自動ドアのガラスに指を巻き込まれないよう防護柵を設けるなど安全性を高めたり、飛散しないようにガラスを二重にした合わせガラスと組み合わせたり、とこれまでに培ったノウハウをもとにした多彩な提案力も高い評価を得ています。

メリハリをつけた働き方を大切に、残業の削減、年間休日の増加にも積極的に取り組んでいる同社。2021年には、営業部門に初めて新卒女性社員が配属されるなど、女性社員の活躍の場も広がっています。「海外と比べて、日本では建築物に使われるガラスの割合が少なく、当社がガラスで貢献できる余

地はまだまだある」と下岡さん。さらに提案力に磨きをかけ、さらにハードグラスの存在感を高めています。



本社外観

企業データ

■設立(創業)/1970年
■資本金/2億120万円

■売上高/55億3,925万円(2023年3月期)
■従業員数/233名

■平均年齢/45.5歳



受託先の依頼をもとに製品の設計から製造までを行う化粧品ODMメーカー。90年近い化粧品製造の歴史で培った技術力と創意工夫を強みに多彩な化粧品を製造しています。

受託先の希望をふまえ化粧品を企画、製造



ミキサーをタッチパネルで操作し、化粧品を製造しています

受託先は百貨店やドラッグストア、バラエティショップなどの店頭販売のメーカーか

ら、通信販売のメーカーなど多彩です。どんな製品を売りたいのかをヒアリングをした上で企画、設計をし、研究開発を行ったうえで試作品づくりを繰り返し、販売に必要な薬事申請の手続きまで行って完成品として供給しています。提供する製品はスキンケア、ヘアケアからメイクアップまで網羅。時流をとらえた提案力と細かなニーズに応えられる技術力が問われる世界です。2022年には神戸、横浜両工場でSDGsの一環として環境の国際規格も取得し、環境負荷低減の取組にも注力しています。

Made in Japanのアジア進出を後押し

社員に浸透しているのが社にも掲げる「創意工夫」の精神です。難しい依頼に対する開発や、生産をより効率的に行うための改善なども「知恵を絞って最後まであきらめずにやり抜く姿勢が貫かれている」と人事戦略部。新卒入社した社員が今では海外工場の工場長になるなど、チャンスと働きやすい環境が整っています。

今後については「Made in Japanの化粧品に対する人気が高い中国をはじめとするアジア市場を見据え、受託先のアジアマーケット進出のサポートに注力するほか、国内向け

ではますます関心が高まっているエイジングケア（抗加齢）の提案力に磨きををかけていきたい」と先を見据えています。



西宮浜の工場には、およそ300人のスタッフが働いています

企業データ

■設立(創業)/1948年
(創業1935年)
■資本金/8,000万円

■売上高/122億7,600万円(2023年3月期)
■従業員数/390名

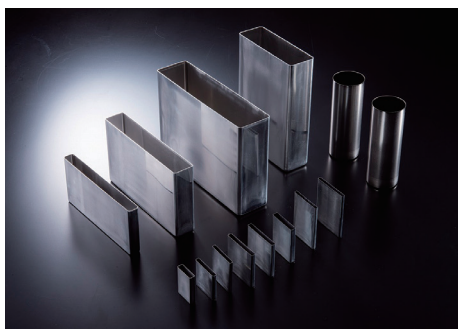
■平均年齢/41.4歳



朝来市で、自動車向けリチウムイオン電池を安全に保護するアルミケースで70%以上のシェアを誇る富士発條。それは「従業員の“感動”を追求する」企業姿勢から生み出されています。

- 👑 令和3年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑 くるみん認定企業
- 👑 えるぼし認定企業

自動車向けリチウムイオン電池アルミケースで高シェア



アルミバッテリーケース

線ばねメーカーとして創業し、より付加価値の高い板ばねに参入する際に、基盤となる金型作りも自ら手掛けるようになりました。その後挑んだプレス加工では、精密な製缶加工技術に磨きをかけていきました。そして、携帯電話に使われるリチウムイオン電池を皮切りに電池のアルミケース事業に参入。1枚のアルミ板から高精度かつ高い歩留まりで加工できる能力は他の追随を許さず、国内自動車メーカー向けリチウムイオン電池ケースでは約7割のシェアを獲得。今後、さらなるEV（電気自動車）の普及が見込まれる中、ますます同社の活躍の場が広がろうとしています。

従業員の“感動”を追求する

「開発するのも、モノをつくるのも、サービスをするのも結局は人。従業員が気持ちよく働けてこそ良い仕事ができる」と、藤井啓社長。「従業員の感動を追求する」経営を標榜するの^{ひょうご}もそうした思いの表れです。「“満足”で終わらせず“感動”してもらえ^ほほどのことを会社が先取りして取り組んでいくことが必要」と職場環境の改善に努め、製造現場でも女性社員が生き生きと働く姿が見られます。“天空の城”として知られる竹田城跡に近い豊かな自然環境に恵まれ、自然災害の少ない地勢に立地する同社。「オープンで風

通しの良い社風をさらに実現し、電池ケース事業を極めていきたい」とさらなる成長を見据えています。



新入社員フォローアップ研修

企業データ

■設立(創業)/1960年
(創業1959年)
■資本金/9,500万円

■売上高/120億3,900万円(2023年3月期)
■従業員数/602名

■平均年齢/42.6歳



兵庫県内で15店舗のホームセンターを運営する。同業大手の画一的な店舗展開とは一線を画し、店ごとの地域特性、地域住民のニーズをふまえた品ぞろえ、サービスを実現しています。

地域の特性に合った店づくり



屋内緑化とアクアの融合

森林業の盛んな兵庫県泉粟市で生まれ育った安黒嘉宣社長。兵庫県中西部を中心に15ある店舗を通じて提案したいのは「花と緑に

あふれるローカルな暮らし」だと言います。それを象徴するように各店ではガーデニングのコーナーが特に充実しています。

地域の特性に合った店づくりをしているのも大きな特長です。阪神・淡路大震災後に开店した神戸駒ヶ林店では、銭湯がつぶれて困っている人たちの声をもとに「一か八か」で温泉を掘り当て温浴施設をオープンしました。佐用店では5名以上から要望があれば、車で店まで送迎するサービスも実施。これからは「健康長寿の実現」と「屋内緑化」をテーマにサービスを強化していこうとしています。

顧客にも従業員にも「寄り添った」経営を実践

原則、その地域で生まれ育った人を採用しているのも「地域のことをよく知り、地域に愛着を持つ人に接客してほしい」との思いからだそう。入社後は仕事オンリーではなく一人の社会人として成長してほしいとの考えから、入社数年目の先輩社員をメンターに付けて相談に乗るほか、交流や研修の機会も多く設けています。そして安黒社長自ら全店を月に2回は巡回し、従業員との密なコミュニケーションを大切にしています。顧客にも従業員にも「寄り添った」経営でこれからも地域から愛される店づくりを目指しています。

「お客様の喜びがわが喜び」



プロも満足する豊富な品ぞろえ

企業データ

■設立(創業)/1981年
(創業1963年)
■資本金/3,000万円

■売上高/142億円(2023年2月期)
■従業員数/880名

■平均年齢/46.5歳

めいしょうきこう

明昌機工(株)

丹波市氷上町沼148 ☎0795-82-7111



公式サイト

真空や光学系の機械制御技術に強みを持ち、半導体、がん治療、核融合など多岐にわたるテーマで、国や大手企業が挑む最先端の研究開発、ものづくりを支える装置をつくっています。

- 👉 令和2年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業
- 👉 ひょうご・こうべ女性活躍推進企業 (ミモザ企業) 認定企業
- 👉 平成29年度 ひょうごオンリーワン企業 (令和4年度再認定)
- 👉 成長期待企業

次世代半導体に独自技術で貢献



本社外観

創業からしばらくは無線機器の部品製造を手掛けていましたが、大学との取引が始ま

り、基礎研究や次世代のものづくりを支える装置の開発、製造に取り組むようになりました。中でも自社開発製品の柱として育ったのが樹脂フィルム上等の表面にナノ単位で自在に凹凸をつけることのできるナノインプリンター。2017年には兵庫県からひょうごオンリーワン企業に認定されています。

この技術を生かして近年、開発にこぎつけたのが次世代半導体向けのシンタリング装置です。高電力、高温の過酷な環境において使われるパワー半導体を、パッケージ基板にしっかり接着させることができる焼結技術を実現しました。

設計から完成まで見届けられるやりがい

一品受注の試作開発がほとんどで、国の研究機関、大学、大手企業と手を携えながら開発に取り組んできた結果、真空系制御、光学系制御をはじめ難易度の高い技術を組み合わせる力が備わりました。「最先端の装置を開発設計から製作、制御、現地での据付まで自社で手掛けられるところが当社の強み。自分で考えた構想を完成まで見届けられるところにやりがいを感じてもらえるはず」と役員は口をそろえます。

試作開発は景気に左右されることが多いため、今後は、試作開発についてはさらに深化

させる一方、研究開発案件のうち多くのユーザーに使ってもらえそうなものについては汎用化、準量産化も検討し、試作開発、準量産を両立させた経営を目指していこうとしています。



クリーンルームにおけるデモ作業風景

企業データ

■設立(創業)/1952年
(創業1940年)
■資本金/3,000万円

■売上高/11億円(2023年3月期)
■従業員数/47名

■平均年齢/47.0歳



豊岡市の地場産業である豊岡鞆（びん）のメーカーの中では後発参入ながら、いち早く海外に進出し、自社ブランドも展開するなど先駆的なチャレンジを続け、現在はSDGsの取り組みにも注力しています。

OEMだけでなく3つの自社ブランドを展開



新商品の企画ミーティング

創業者が金物販売業から鞆メーカーに転身したのは1964年のこと。以降、大手鞆メーカーやアパレルメーカーからの受託製造(OEM)を手掛けてきました。93年には業

界他社に先駆けて中国で生産を始め、同業他社が海外進出に転じた2000年代初頭には国産品質を重視し、国内に工場を新設するなど常に先を見据え、新たな取り組みにチャレンジしてきました。

そして、機能美を追求した「アートフィアー」「アトリエUUU」「レゾン」と3つの自社ブランドを展開。一方でOEMでは、国内外のハイブランドからの受託製造を増やしています。今後は自社ブランドの海外展開にも本腰を入れていこうとしています。

廃棄漁網をリサイクルしたスクールリュックを商品化

数年前に「鞆創造により人生を豊かにする」というミッションを掲げ、共に働く人、得意先、仕入先など関わる人すべてをリスペクトする「仲間を大切に」というバリューを掲げました。

商品開発面の取り組みとしては海洋汚染の原因となる廃棄漁網をナイロンチップにして再生した生地を使って小学生用のスクールリュックとして商品化。そこには「子どもたちに海の環境を守る大切さを伝えたい」との思いが込められています。また、どのような技術や知識を身に付ければ評価につながるかを明確にした人事制度を2020年から導入。

すべての社員が向上心を持って働ける風土づくりを目指しています。

2021年には働きやすく、働きがいのある職場としてあんしんカンパニー*の表彰を受けています。



*あんしんカンパニー
女性にとって働きやすく、働きがいなどが高い水準に達している豊岡市内の事業者を表彰する制度です。

企業データ

■設立(創業)/1971年
(創業1964年)
■資本金/1,000万円

■売上高/非公開
■従業員数/181名

■平均年齢/48.0歳